

SAITAMA CITY NEWS 2025

2025年
春号
SPRING

公明党さいたま市議会議員団ニュース

komei-saitamacity.com

「市民の声」を市政に届け、カタチに！——。小学校体育館へのエアコン設置と帯状疱疹ワクチンの助成が新年度から、実現することになりました。公明党さいたま市議団が議会活動を通じ、粘り強く取り組んできた施策であり、今後も両事業を力強く後押ししてまいります！

市民の声!!

しっかりとカタチに!!



前倒し 小学校体育館へのエアコン整備へ!

近年「酷暑」ともよばれる夏の暑さ。子どもたちの命と健康を守るため学校体育館へのエアコン設置は待ったなしです。

自然災害が激甚化する中、地域の避難所機能強化の観点からも公明党市議団は体育館へのエアコン設置をさいたま市に再三提言、強力に推進してきました。その結果、令和7年度までに全中学校への配備が完了予定。国の補正予算も活用し、小学校でも7年度から前倒しで整備開始、8年度から順次設置される運びです。

帯状疱疹ワクチン助成が始まります!

帯状疱疹は子どもの頃にかかった水疱瘡のウイルスが、大人になってから加齢やストレスで免疫力が低下することによりウイルスが再活性化して発症します。80歳までに3人に一人が罹患すると言われており、ワクチンによる予防が重要です。

ワクチンには2種類あり、生ワクチンは一回接種で約8千円、不活化ワクチンは2回接種で4万から5万円程度かかります。このため費用負担軽減へ、公明党市議団は市にワクチンの助成を粘り強く要望してきました。令和7年度、国が65歳以上

の方への帯状疱疹ワクチンの定期接種化を決めたことを受け、さいたま市は国の助成対象にならない50歳以上の全市民に助成することに。4月1日からの接種が対象となります。

さいたま市HP / 帯状疱疹ワクチン 助成のご案内

学校外の 医療的ケア児支援 拡充

医療的ケア児が宿泊を伴う学校行事に親の同伴がなくても、児童生徒が安心・安全に行事参加できるように、医療的ケア児支援法に則して看護師帯同を制度化するよう訴えた結果、予算が拡充され実現する運びです。



見沼区 青藤 健一
総合政策委員会、決算特別委員会(理事)、大都市行財政将来ビジョン特別委員会(副委員長)、地下鉄7号線延伸事業特別委員会

小学校体育館の エアコン整備に 全力

保健福祉委員長として「高齢者や障がい者が暮らしやすい社会」をテーマに調査・研究。国の補正予算を活用し小学校体育館へのエアコンの前倒し設置も訴え、実現。大宮駅周辺のまちづくり加速化に情熱を燃やします。



大宮区 服部 剛
保健福祉委員会(委員長)、大宮駅グランドセントラルステーション化構想特別委員会

带状疱疹ワクチン 助成を主導

令和3年より訴え続けてきた带状疱疹ワクチン公費助成の実現をリードし、がん患者の方へのアピアランス支援も令和6年7月1日より実現。地元・大宮盆栽村の100周年に向け課題解決に動いてきました。



北区 関 ひろみ
市民生活委員会(副委員長)、予算委員会(理事)、大宮駅グランドセントラルステーション化構想特別委員会

市民が利用しやすい 公共交通を

超高齢社会に向けた公共交通の在り方検討特別委員長として、公共交通空白地域の解消や高齢者等の移動支援を調査・研究。デマンド交通やグリーンスローモビリティなど地域の実情に合った仕組みの本格導入を目指します。



西区 上三 信彰
文教委員会、超高齢社会に向けた公共交通の在り方検討特別委員会(委員長)

水道スマート メーター導入めざす

超高齢社会を迎え、認知症患者が増加する中、早期発見へ「ものわずれ検診」の積極的推進を提案。単身高齢者の見守りに「水道スマートメーター」の導入も訴え実証実験が開始。今後本格導入を目指します。



桜区 大貫 田鶴子
まちづくり委員会、決算委員会、議会改革特別委員会

デジタル技術で、 便利な 市民生活を

デジタル地域通貨の導入を訴え、4年がかりで実現。令和6年7月末よりダウンロード開始! 区役所窓口での書類記入の負担を減らす「書かない窓口」も導入しました。



中央区 照喜納 弘志
総合政策委員会、決算特別委員会(副委員長)、超高齢社会に向けた公共交通の在り方検討特別委員会

避難所整備など 防災・減災を進める

防災・減災対策として、災害関連死を防ぐためスフィア基準にのっとった避難所環境の整備を進めることやトイレカーの整備、福祉の配慮やキッズスペース設置などを主張。罹災証明のコンビニ交付の実現も求めました。



見沼区 小森谷 優
まちづくり委員会、議会運営委員会(理事)、議会改革推進特別委員会、政治倫理特別委員会(委員長)

市民の 安全・安心を守る 施策推進

議会運営委員長として円滑な議事の進行に尽力。マイナカードを活用した救急業務の推進、循環型社会に向けエコ・アクション・ポイントの導入、災害に備え感震ブレイカーの普及、防犯カメラの効果的な設置等を提案しました。



岩槻区 岩槻 健
議会運営委員会(委員長)、市民生活委員会、地下鉄7号線延伸事業特別委員会

子育て世帯の 負担軽減に全力

子育てしやすい市をめざし、「小1の壁」解消につながる市立小学校「朝の預かり」導入を提案。子育て世帯の負担軽減策として保育園・放課後児童クラブの送迎サービスの利用者費用軽減を実現しました。



南区 尾上 貴明
保健福祉委員会、予算委員会、市庁舎等整備検討特別委員会

市民目線 で条例・施策リード

政令市初「ネット誹謗中傷防止条例」制定をリード。「高齢者移動支援」や「小一の壁」を破る小学校「朝預かり」を提案するなど市民目線の政治に注力。これまで防犯カメラの設置や体育館へのエアコン設置も推進してきました。



緑区 神坂 達成
保健福祉委員会、予算委員会、前副議長

「学びの多様化 学校」を実現

「学びの多様化学校」の設置を訴え、不登校支援の強化を推進。いどろり学園(小学部、中学部)が来春開校へ。スクーリングとオンラインで多様な学びを確保し、誰一人取り残さない教育の実現を目指します。



浦和区 谷中 信人
文教委員会、市庁舎等整備検討特別委員会、議会広報編集委員会、市監査委員

施策実現へ 全力投球!



公明党市議団 11名の取り組み

令和7年度予算案に提案・要望が 反映された主な事業



公明党さいたま市議団は、市民の声を施策として練り上げ予算要望や緊急要望を行うとともに、議会の代表・一般質問等でも取り上げ、施策実現にまい進してきました。

本年2月定例会で成立したさいたま市補正予算・令和7年度当初予算には、市議団の提案や要望が数多く反映されています。主な事業を紹介します。

01 子どもの未来育む 環境づくり

- 子ども・若者ワークショップの開催
- 産後ケア事業者への委託料増額
- 子育てヘルパー派遣事業のオンライン予約と利用料金引き下げ
- 保育士確保へ「さいたま保育士応援手当」の創設
- 放課後子ども居場所事業の拡充
- 小学校体育館へのエアコン設置の前倒し実施
- 小中学校トイレ洋式化の前倒し実施
- 不登校特例校「学びの多様化学校」の設置



不登校生徒などの学び直しに取り組む都立桐ヶ丘高校を調査(2025年1月28日)

- 給食費の物価高騰分を公費負担
- 児童・生徒用タブレットの維持管理と端末の更新



02 市民が安心して暮らせる街に

- 原則全ての手続きのオンライン化・手続きの簡素化
- 防犯カメラの積極的な設置推進
- ゴミ置き場への広告付きネットボックスの設置推進



佐賀市のゼロカーボンシティの取り組みを調査(2025年1月24日)

- 消防団支援アプリの導入
- 水道スマートメーターの実証実験



2月定例会
代表質問

1

「スフィア基準」に沿った避難所へ!

小森谷 優 団長(見沼区選出)

自然災害が激化する中、発災後48時間以内に、避難所にTKB(トイレ、キッチン、ベッド)を配備し、被災者が尊厳ある生活を営むための「スフィア基準」に沿った避難所の質向上を求めました。さらに高齢者など

の要支援者への福祉的視点と子どもの目線に立った避難所運営の必要性を訴えました。

市は、共助の取り組みなどを含め、市内の避難所運営でスフィア基準の達成を目指す考えを示しました。

REQUEST
03

経済・交通・まちづくりの取り組み

- デジタル地域通貨を活用したボランティアや環境貢献活動へのポイント付与
- デジタル地域通貨を活用した物価高騰対策
- 「さいたまスイーツ」など、地域ブランドの発信力強化
- グリーンスローモビリティ、AIデマンド交通の実証実験



松戸市が進めるグリーンスローモビリティを調査(2025年1月15日)

- 大宮駅周辺と浦和駅周辺まちなかウォークブルの推進
- 大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進
- 地下鉄7号線延伸に向け、中間駅のまちづくりを推進
- グリーンインフラによる都市緑化空間の創出



民間主導で運営する若手県盛岡市中央公園 BeBA TERRACEを視察(2024年7月17日)

- ゼロカーボンシティ実現へ、エネルギーの地産地消の推進体制構築
- 農業交流施設の整備推進



2月定例会
代表質問

2

「書かない窓口」全区に導入!

照喜納 弘志 政調会長(中央区選出)

コロナ禍により区役所での窓口業務が制限され、令和2年の6月定例会の一般質問より窓口手続きの簡素化とデジタル化の必要性を訴え続けてきました。令和6年になってようやく西区役所に「書かない窓口」

が先行導入され、マイナンバーカードの提示と、窓口職員への質問に答えるだけで、手続きが完了できるように。2月定例会の代表質問でも取り上げ、市は答弁で10区への導入と対象手続きの拡充を表明しました。

REQUEST
04

防災・減災対策の強化



- 防災アプリを活用した防災教育の実施
- 女性の防災士資格取得にかかる費用助成
- 避難所における要配慮者向けの防災備蓄として、とろみ剤などを追加
- 浸水被害の軽減へ雨水管及び雨水貯留施設の整備推進
- 防災拠点としてのさいたまセントラルパークの整備推進



熊本震災ミュージアムを視察(2025年1月10日)

REQUEST
05

文化・スポーツの振興

- アーバンスポーツの施設整備
- 大宮盆栽村開村100周年記念事業の実施

REQUEST
06

健康・安心な社会へ



- 50歳以上の市民対象に带状疱疹ワクチンの助成
- 障がい者の日常生活用具給付事業の基準額の見直し
- 制度の狭間で支援を受けられない人への伴走支援に携わるコミュニティソーシャルワーカー(福祉の専門職)の配置